

WES（倉庫実行システム）を活用した 物流センターのDX化支援サービス

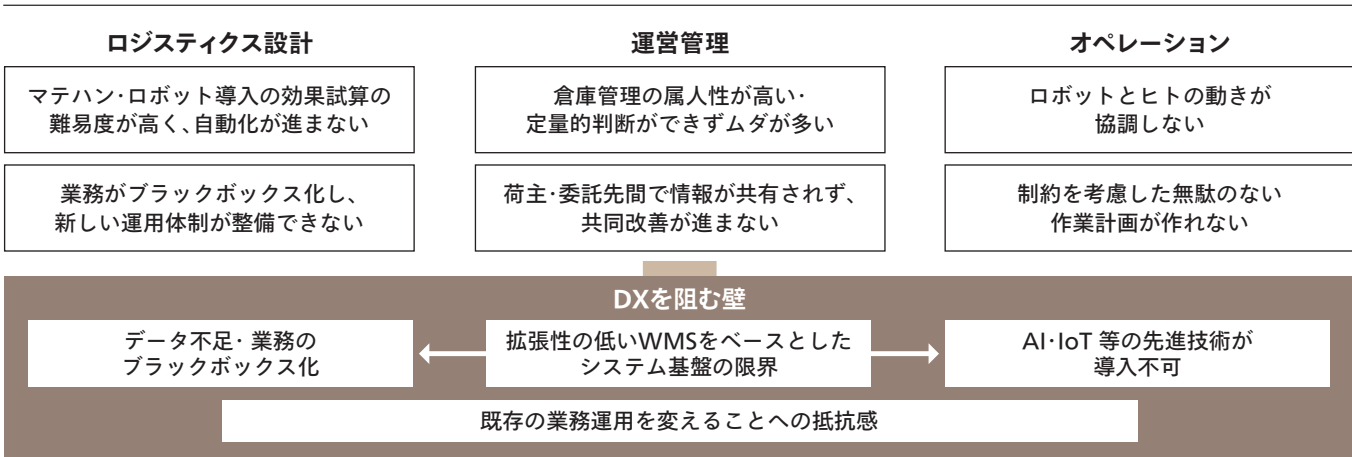
AI・デジタルツインなどの最新テクノロジーを活用し物流センターの運営最適化を実現

人手不足の慢性化や物流コストの上昇など物流環境が大きく変化するなか、物流センターにおいては自動化・省人化の推進といったサステナビリティへの対応や環境変化に対するアジリティ（機敏性）向上に向けたDXの実現が急務となっています。アビームコンサルティングは、ロジスティクス分野の豊富な改革実績とテクノロジーを活用することでDXを推進し、ヒト・モノ・ロボット（設備）・工程を含めた物流センター全体の運営最適化を実現します。

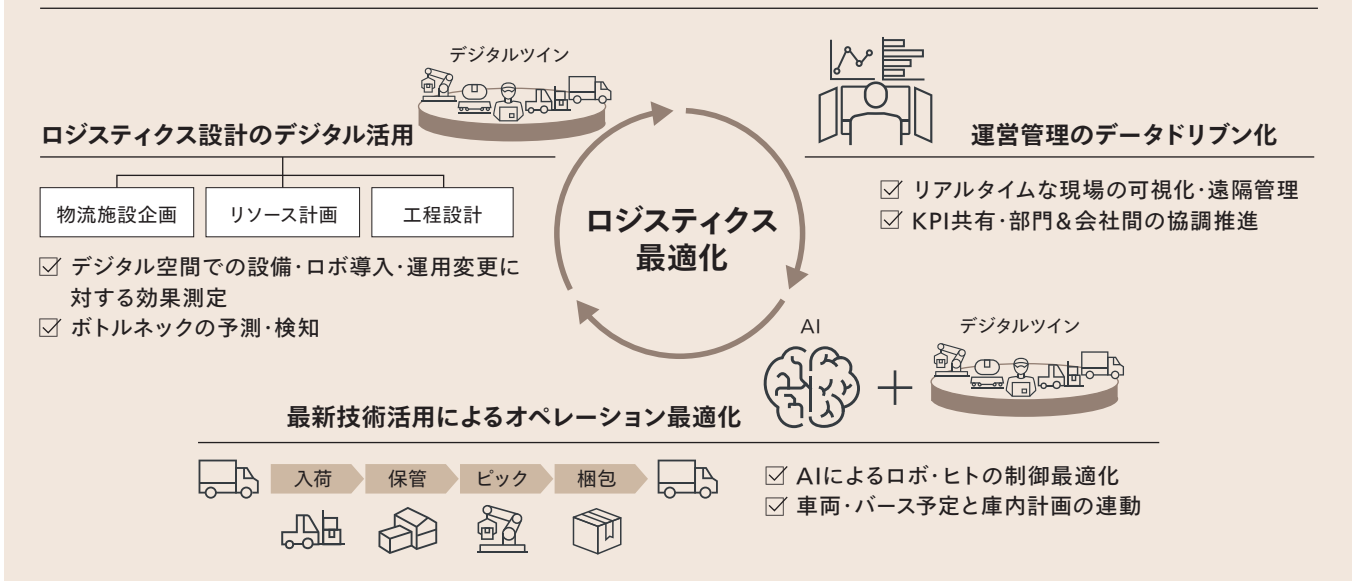
物流センターDXで目指すべき姿と障壁

現状のWMS（在庫などモノを中心とした倉庫管理システム）をベースとしたシステム基盤が慢性的な課題・デジタル化の遅れを引き起こし、物流DX実現の大きな障壁となっています。拡張性の低いシステム基盤からの脱却を図り、設計～運営管理～オペレーションまで、物流センターの運用全体（ヒト・モノ・ロボットなどの設備・工程）の生産性最大化と柔軟性向上が必要です。

物流センターの課題



アビームコンサルティングが考える物流センターDX

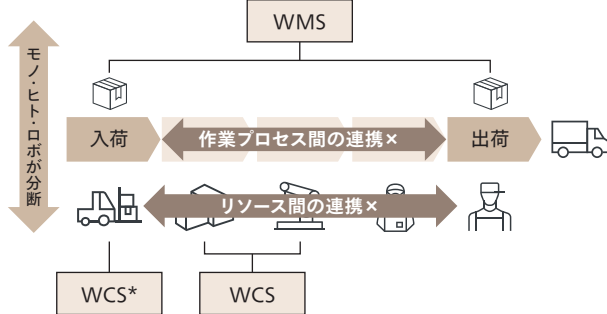


WES(Warehouse Execution System:倉庫実行システム)を活用した物流DXの実現

WESとは、マテハン・ロボットとの接続性の簡易化、人を含めたリソースの制御・稼働データ取得によるプロセスとの統合管理が可能な倉庫実行管理システムです。柔軟性も高く、AIやデジタルツインといった最新テクノロジーを活用したシステムの土台を築くことができ、物流DXの実現性を飛躍的に高めます。

WES未導入

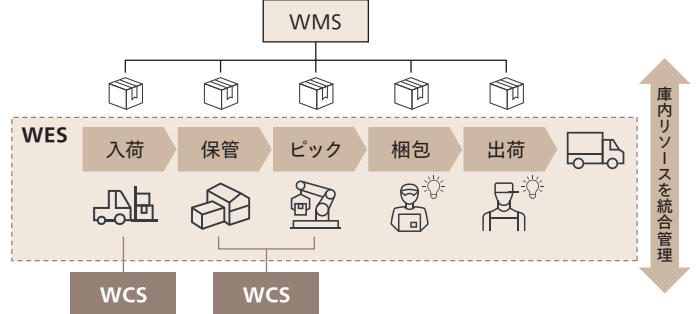
(弊社顧客20社へのヒアリングに基づく)



- ☑ 作業プロセスの大部分がシステム管理外
- ☑ 設備・ロボの接続はWCS(倉庫制御システム)で個別に制御
- ☑ データ収集が断片的

リソース制御がばらばら・最新テクノロジー活用不可

WES導入



- ☑ 作業プロセス全体を可視化・管理
- ☑ リソース(ヒト・モノ・ロボット)を一元的に管理
プロセス・リソースごとにデータを蓄積

全てを統合管理・最新テクノロジー導入効果を最大化

アビームコンサルティングの提供価値

物流DXに関する豊富な実績とノウハウを持つアビームコンサルティングと、最新テクノロジー技術を持ちWESを開発・提供するYE DIGITAL社とのパートナーシップにより、クライアントの物流領域における目指すべき姿の構想から実現までトータルでご支援します。

PoC(概念実証)による費用対効果検証

提携しているYEデジタル社のWES*を用い、PoCから着手可能。効果と運用変更のイメージを確認しながら、DXを推進。

[>>YE DIGITAL社 倉庫自動化システム MMLogiStation](#)

AI・シミュレーション等の技術知見

産総研AIセンター・BIRD社との共同研究によるシミュレーションと機械学習を融合したAI技術*の知見を保持。

[>>次世代型AIシミュレータ assimee](#)

現状診断から実装までの総合的なご支援

豊富な物流コンサルティング実績に加え、メーカー・流通・物流事業会社出身者による体制構築により、物流全体戦略策定と実行支援の両方が可能。

物流DXに“推進力”と“実効性”を与えるアビームのアプローチ

物流DXは実現性分析と効果測定の難易度が高いため、構想段階で滞りがちです。WES製品を活用してPoCをクイックに立ち上げ、効果を検証しながらロードマップを策定していくアプローチを提案します。

